

北海道学び推進月間の取組

日高教育局
令和2年12月4日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 北海道春の学び推進月間の取組

「オンライン朝の会」における児童の家庭学習の取組状況の把握

浦河町立浦河小学校では、臨時休業期間中に、全児童に配付したタブレット端末を活用した、「オンライン朝の会」を実施し、家庭での学習におけるポイントの説明やその日の家庭学習の取組状況等の確認を以下のように行いました。

- ・登校時刻に合わせて、各家庭でビデオ会議アプリZoomを使用し、学級担任とあいさつ、健康観察及び家庭学習の状況確認を行いました。
- ・学校が配付した課題について、短時間でポイントを説明したり、例題を示して取り組ませたりすることにより、主体的に取り組むことができるようにしました。



【オンライン朝の会の様子】

○ 北海道秋の学び推進月間の取組

「総合的な探究の時間」の充実に向けた組織的な取組

浦河高校では、「総合的な探究の時間」の充実を図るために、本校の分掌であるキャリアガイダンス部が中心となり、教職員が組織的に生徒一人一人に丁寧な指導を行う等の取組を行っています。その取組の一環として、年2回「生徒の学習意欲や生徒の学習を深い学びに繋げる指導力向上のための校内研修」を実施しており、その



一つとして「教員の質問力を高める」をテーマに研修を実施しました。「良い質問とは何か」について、グループで協議を行い、「生徒の視点を変える質問」、「生徒の表現力を高める質問」等について理解を深めました。このような研修を通して、生徒が「総合的な探究の時間」の中で、探究的な見方・考え方を働かせる場面を具体的に想定しながら教員の理解を深め、生徒の課題を発見し解決していくための資質・能力を育成しています。今後も組織的な研修等、「総合的な探究の時間」をより活性化するための取組を実施していきます。

「北海道学び推進月間」 標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆

「学びの輪 みんなでつくる 物語」 えりも町立東洋小学校6年 神田 愛海 さん

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆

「学びから 広がる未来 描いてく」 北海道平取高等学校1年 原田 奈央 さん

「学習は いつか誰かを 救う鍵」 北海道えりも高等学校3年 田中 恵菜 さん

「学びの陽 まだ見ぬ自分を 照らし出せ」 北海道えりも高等学校3年 野阪 翼成 さん

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。